

事務事業名		統計情報提供事業				☐ 実施計画登載事業		☐ 合併建設計画登載事業				
政策体系	政策名	08 自立した行政経営の確立				事業期間		予算科目				
	施策名	35 効率的で質の高い行政運営の推進						会計	款	項	目	事業
	基本事業名	01 成果重視の行政運営の推進						01	02	05	01	02
根拠法令												
所属	部課名	商工港湾部商工課										
	課長名	佐々木 毅										
	係名	統計係	電話	27-3111								
	担当者	紀室 亜由子	内線	107								
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						全体計画(※期間限定複数年度のみ)						
各分野の基本的な統計資料を収録した統計書の発行と市ホームページへの統計資料の掲載により統計情報を広く提供し、活用を促進する。 ・大船渡市統計書発行(毎年) ・大船渡市ホームページへの統計資料掲載(随時) ・主な業務は、①各課や外部からの統計資料の収集、②原稿執筆、校正、③印刷(委託)、④統計書の配布、⑤ホームページへの掲載 ・事業費は、統計書の印刷費として支出される。						総 投 入 量 (千 円)	事 業 費	財 源 内 訳	国庫支出金			
									都道府県支出金			
									地方債			
									その他			
									一般財源			
									事業費計(A)	0		
人 件 費	正規職員従事人数											
	延べ業務時間											
	人件費計(B)	0										
トータルコスト(A)+(B)		0										

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		
① 手段(主な活動)	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
	名称	単位
	ア 統計情報提供媒体数	件
	イ	
ウ		
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)	
・市民 ・統計資料	名称	単位
	カ 総人口	人
	キ 提供資料数	頁
ク		
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
・統計資料を生活設計や企業経営、教育・研究などに活用してもらう。	名称	単位
	サ 統計書配布数	冊
	シ ホームページ(統計)アクセス件数	件
	ス	
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)		
・市民の多様なニーズに的確に対応し、成果を出す。		

(2) 総事業費・指標等の推移										
			年度 単位	23年度（実績）	24年度（実績）	25年度（実績）	26年度（実績）	27年度（実績）	28年度（目標）	
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千 円						
			都道府県支出金	千 円						
			地方債	千 円						
			その他	千 円						
			一般財源	千 円	159	194	153	189	168	160
	事業費計（A）		千 円	159	194	153	189	168	160	
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1	
		延べ業務時間	時 間	240	240	240	240	240	200	
		人件費計（B）	千 円	960	960	960	960	960	800	
		トータルコスト(A)+(B)		千 円	1,119	1,154	1,113	1,149	1,128	960
⑤活動指標		ア	件	2	2	2	2	2	2	
		イ								
		ウ								
⑥対象指標		カ	人	39,376	39,117	38,871	38,712	38,167	－	
		キ	頁	132	114	113	113	113	113	
		ク								
⑦成果指標		サ	冊	250	200	200	180	180	200	
		シ	件	7,679	4,795	3,708	3,524	3,393	4,000	
		ス								

事務事業ID	0428	事務事業名	統計情報提供事業
--------	------	-------	----------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？
昭和27年市制施行の時に、市の現況紹介のために発行した市勢要覧に統計資料を掲載した。以後、市勢要覧の資料編から独立させ統計書として統計資料を提供してきた。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？
統計資料を必要としている人たちは、紙ベースの資料から電子情報による資料収集・活用に変わってきており、インターネットなどから得た情報を加工・分析して効果的に活用している。平成23年度は、年度当初まで東日本大震災による停電等の影響で市ホームページの運用が停止し、再開した後の6月に3,000件を超えるアクセスがあった。近年は月平均300程度である。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？
調査関係部署、事業者等から、震災前と震災後の比較及び復興状況を知るための指標として、最新の調査結果について資料の提供要望がある。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 結びついている ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	統計情報の提供・活用が図られ、統計に対する理解が深まり、円滑で質の高い統計行政が運営できる。	
	② 公共関与の妥当性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 妥当である ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	この事業は、あらゆる分野の総合的な統計情報を提供するもので、民間ではデータ収集が難しく、また、市民への情報提供、行政運営の基礎資料としても不可欠であり市の関与は妥当である。	
有効性 評価	③ 対象・意図の妥当性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 適切である ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	統計書の作成・配布とホームページへの掲載を行っており、情報を必要としている者が利用している状態である。	
	④ 成果の向上余地	☒ 向上余地がある ⇒【理由】 ☐ 向上余地がない ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	統計資料利用者のニーズを把握し、利用する立場に立った見やすく利用しやすい資料の提示方法を研究する。統計情報ページの作成、利用者が活用しやすいデータ形式での情報提供等工夫していく。	
効率性 評価	⑤ 廃止・休止の成果への影響	☐ 影響無 ⇒【理由】 ☒ 影響有 ⇒【その内容】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	事業を廃止した場合、市民への統計情報の提供、共有化が図れなくなる。また、行政資料としても不可欠なため企画立案・意思決定に支障がでる。	
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある (具体的な手段, 事務事業) ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	類似事業がない。	
公平性 評価	⑦ 事業費の削減余地	☒ 削減余地がある ⇒【理由】 ☐ 削減余地がない ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	電子情報の活用を促進することにより、統計書の印刷部数を減らし印刷費を削減する。	
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	電子情報の活用を促進し、紙ベースによる統計書発行の必要性を検討していくが、まだ、冊子の統計書も必要であり、ベースとなる統計資料の精査等に係る業務時間は変わらないため、これ以上の削減は難しい。	
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	統計書は無償頒布しており、印刷部数の7割程度が資料提供機関や公共機関への頒布である。一般頒布が3割程度であることと、電子情報の活用促進により紙ベースでの利用が減少することを考慮すると、統計書の配布希望者に受益者負担を求めることは適切ではない。	

事務事業ID	0428	事務事業名	統計情報提供事業
--------	------	-------	----------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること) <table border="1"> <tr> <td>① 目的妥当性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td>☐ 適切</td> <td>☒ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td>☐ 適切</td> <td>☒ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> </table>		① 目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	② 有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり	③ 効率性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり	④ 公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	(2) 全体総括(振り返り、反省点) 統計書の発行と市ホームページにより統計情報を提供した。 統計書については、さらに見やすいレイアウトについて検討し、一部改善を図った。今後も引き続き利用しやすい情報の提供に取り組んでいくことが必要と考える。																			
① 目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																															
② 有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり																															
③ 効率性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり																															
④ 公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																															
(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可) <table border="1"> <tr> <td>☐ 廃止</td> <td>☐ 休止</td> <td>☐ 目的再設定</td> <td>☐ 事業統合・連携</td> <td>☐ 現状維持</td> </tr> <tr> <td colspan="5">事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☒ 効率性改善 ☐ 公平性改善)</td> </tr> </table> (上記方向性に対する具体的な内容) 統計情報は現在、インターネットで容易に検索できるため、製本による統計書の提供数は減少傾向にあることから、引き続きインターネット等電子情報による提供、活用を促進していく。具体的には、ホームページ上に大船渡市の統計情報ページを作成し、利用者が活用しやすいデータ形式での統計データを提供していく。 製本による統計書の発行についてはニーズを見ながら発行部数を調整していく。		☐ 廃止	☐ 休止	☐ 目的再設定	☐ 事業統合・連携	☐ 現状維持	事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☒ 効率性改善 ☐ 公平性改善)					(4) 改革・改善による期待成果 左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td>●</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上	●			維持			×	低下		×	×
☐ 廃止	☐ 休止	☐ 目的再設定	☐ 事業統合・連携	☐ 現状維持																													
事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☒ 効率性改善 ☐ 公平性改善)																																	
		コスト																															
		削減	維持	増加																													
成果	向上	●																															
	維持			×																													
	低下		×	×																													
(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 インターネット等によるデータ活用を促進するため、見やすく利用しやすいホームページの作成と迅速な情報提供について運用管理していく。 電子情報の活用を促進し、紙ベースによる統計書発行の必要性を今後も検討していく。																																	

(職 名) ※原則として施策の主管課長 (氏 名)

4 事務事業の2次評価結果

2次評価者	商工課長	佐々木 毅
-------	------	-------

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 ①記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択) ☐ 記述不足でわかりにくい ☐ 一部記述不足のところがある ☒ 記述は十分なされている ②評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択) ☐ 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない) ☐ 一部に客観性を欠いたところがある ☒ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)		(2) 2次評価者としての評価結果 <table border="1"> <tr> <td>① 目的妥当性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td>☐ 適切</td> <td>☒ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> </table>	① 目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	② 有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり	③ 効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	④ 公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	(3) 評価結果の根拠と理由 ・統計資料利用者のニーズを把握し、見やすく利用しやすい情報を提供することにより、成果の向上が期待できる。																		
① 目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																															
② 有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり																															
③ 効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																															
④ 公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																															
(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可) <table border="1"> <tr> <td>☐ 廃止</td> <td>☐ 休止</td> <td>☐ 目的再設定</td> <td>☐ 事業統合・連携</td> <td>☒ 現状維持</td> </tr> <tr> <td colspan="5">事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☒ 効率性改善 ☐ 公平性改善)</td> </tr> </table> (上記方向性に対する具体的な内容) ・利用者の立場に立った統計書の掲載内容、掲載方法等の検討を行う。 ・市ホームページによる情報提供を促進する。 ・紙ベースによる統計書発行(現在は200部)の必要性(最低限の必要部数を含む)については、引き続き検討していく。		☐ 廃止	☐ 休止	☐ 目的再設定	☐ 事業統合・連携	☒ 現状維持	事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☒ 効率性改善 ☐ 公平性改善)					(5) 改革・改善による期待成果 左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td>○</td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上	○	●		維持			×	低下		×	×
☐ 廃止	☐ 休止	☐ 目的再設定	☐ 事業統合・連携	☒ 現状維持																													
事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☒ 効率性改善 ☐ 公平性改善)																																	
		コスト																															
		削減	維持	増加																													
成果	向上	○	●																														
	維持			×																													
	低下		×	×																													

5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項
